

桃豚は、豚特有の病原菌をもっていない SPF豚(清浄豚)です。



Specific 特定の
Pathogen 病原菌を
Free もっていない

『桃豚』は、健康・安全・安心

ポークランドグループの農場で育てられている「桃豚」は病気がない状態で生まれてくるため、病気を抑制する抗生物質や薬品をほとんど使わずに育てることが出来ます。

しかし、「桃豚」が病気になると、どうしても薬品を使わなければなりません。そのため、農場内に病気を持ち込まないための防疫管理を徹底しています。例えば農場(豚舎)内へ入るときは従業員も必ずシャワー入浴をして専用の作業着に着替えます。また、場内を走れるのは専用車だけで、出荷も専用車を使って完全に場内と場外をシャットアウト...など、日頃から私達はSPF豚農場の状態を維持するため、細心の注意を払い、外部からの病気の侵入を防いでいます。

SPF豚農場認定制度

SPF農場と認定されるには「日本SPF豚協会」での厳選な審査を受けなければなりません。農場の管理状態・抗生物質などの薬品の使用量・豚の血液検査・内臓検査等々の審査が毎年行われます。



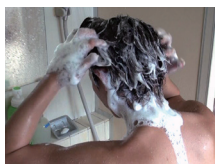
SPF豚農場認定証



専用車による出荷



シャワーゲート



入退場時のシャワー入浴

BMW技術

BMW技術による自然浄化作用で、桃豚が過ごしやすい環境づくり。

BMWとは、B=バクテリア・M=ミネラル・W=ウォーターの略で、簡単に言うと土の中のバクテリアと石のミネラルを利用して汚水を浄化するという技術です。これは自然浄化作用という、自然に備わるリサイクルの力を利用したものです。バイオリクター(石=ミネラルと腐植土=バクテリア)の入った排水処理プラントで尿を循環させます。いくつかのプラントで浄化を繰り返すことによって、臭いはまったくなくなります。この水はミネラルをたっぷり含んだ「生物活性水」に生まれ変わります。糞尿や土の中にいた微生物が、水槽の中で臭いの元となる有機物などを食べ、石からミネラルを補給して、家畜の尿を不思議な作用を持つ水に変えてしまうのです。この生物活性水は約百倍に薄めて豚に飲み水として与えたり、天井部からの細霧や豚舎内の洗浄水として利用されています。そうすることで健全な腸内細菌が形成されるため、子豚の生育も良く、健康な桃豚が育てられる豚舎環境が維持されるのです。

BMW技術

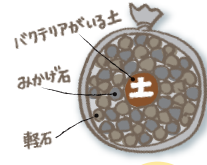
バクテリア

けんびきょうでやっと思えるくらい小さい生きもの。よこれなどを食べてよいものに変えてくれるはたらきをする。

ミネラル

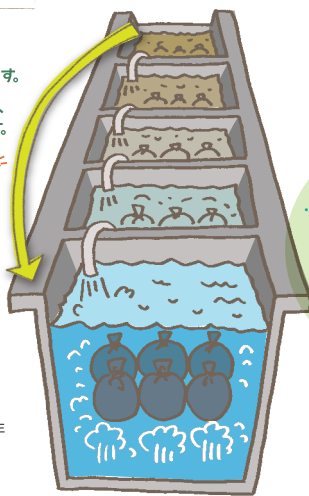
生きものにひつような栄養の種類。たとえばカルシウムや鉄分がある。

おしっこなどでよこれた水を水槽にためて何回もくりかえし別の水槽にうつしていきます。水槽には袋が入っています。その袋の中身は、石(軽石やみかげ石)とバクテリアがいる土です。



ミネラル分が
河川水の200倍
魔法の水
生物活性水

- 豚の部屋にまくと...
 - ◎においが少なくなり豚のひんがきれいになります。
 - ◎消毒しなくても部屋にバイ菌がふえなくなります。
- 豚の「飲み水」に加えると...
 - ◎豚のおなかの調子がよくなり健康な体になります。
 - ◎肉の色がきれいなピンク色になり、肉質がよくなります。
- 野菜など植物にあたえるとよく育ちます。



「BMW技術」は汚水を生物活性水に変えるだけでなく汚水を農場の外へ流さない、自然環境を考えた仕組みです。

BMW技術から生み出される究極の液肥の様々な利用法

薬品をなるべく使わずに育てた桃豚の豚糞で作った堆肥です。作物への影響(耐性菌等)の心配はありません。発芽率99%が示すとおり、腐熟が進行した(完熟)した堆肥です。ポークランドグループから排出された豚糞のみで製造しています。地元農家以外にも土づくりのこだわる全国の農家の方々にも活用いただいております。

